

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 8 月 12 日 (2016.8.12)

【公開番号】特開 2016-47820 (P2016-47820A)
 【公開日】平成 28 年 4 月 7 日 (2016.4.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-021
 【出願番号】特願 2015-187744 (P2015-187744)
 【国際特許分類】

C 0 7 K 16/24 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/24 Z N A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 6 月 27 日 (2016.6.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ヒト IL - 17 及び TNF α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の重鎖可変ドメインを含む重鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 668 のアミノ酸配列を含む、又は配列番号 668 の残基 31 - 35 に示されるアミノ酸配列 D Y A M H を含む C D R H 1、配列番号 668 の残基 50 - 66 に示されるアミノ酸配列 A I T W N S G H I D Y A D S V E G を含む C D R H 2、及び配列番号 668 の残基 99 - 110 に示される V S Y L S T A S S L D Y を含む C D R H 3 を含み、

リンカーは配列番号 669 のアミノ酸配列を含み、

第二の重鎖可変ドメインは、IL - 17 に結合し、かつ、配列番号 670 のアミノ酸配列を含む、又は配列番号 670 の残基 31 - 35 に示されるアミノ酸配列 G Y G I G を含む C D R H 1、配列番号 670 の残基 50 - 66 に示されるアミノ酸配列 G I T P F F G F A D Y A Q K F Q G を含む C D R H 2、及び配列番号 670 の残基 99 - 115 に示されるアミノ酸配列 D P N E F W N G Y Y S T H D F D S を含む C D R H 3 を含む、結合タンパク質。

【請求項 2】

2 つの重鎖を含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 3】

第一の重鎖可変ドメインが、配列番号 668 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 4】

第二の重鎖可変ドメインが、配列番号 670 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5】

第一の重鎖可変ドメインが、配列番号 668 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインが配列番号 670 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 6】

重鎖が配列番号 6 6 7 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 7】

F c 領域を含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8】

バリエーション F c 領域を含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 9】

ヒト IL - 17 及び TNF α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の重鎖可変ドメインを含む重鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 6 6 8 の残基 3 1 - 3 5 に示されるアミノ酸配列 D Y A M H を含む C D R H 1、配列番号 6 6 8 の残基 5 0 - 6 6 に示されるアミノ酸配列 A I T W N S G H I D Y A D S V E G を含む C D R H 2、及び配列番号 6 6 8 の残基 9 9 - 1 1 0 に示されるアミノ酸配列 V S Y L S T A S S L D Y を含む C D R H 3 を含み、

リンカーは、配列番号 6 6 9 のアミノ酸配列を含み、

第二の重鎖可変ドメインは IL - 17 に結合し、かつ、配列番号 6 7 0 の残基 3 1 - 3 5 に示されるアミノ酸配列 G Y G I G を含む C D R H 1、配列番号 6 7 0 の残基 5 0 - 6 6 に示されるアミノ酸配列 G I T P F F G F A D Y A Q K F Q G を含む C D R H 2、及び配列番号 6 7 0 の残基 9 9 - 1 1 5 に示されるアミノ酸配列 D P N E F W N G Y Y S T H D F D S を含む C D R H 3 を含む、

結合タンパク質。

【請求項 10】

2 つの重鎖を含む、請求項 9 に記載の結合タンパク質。

【請求項 11】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 6 8 のアミノ酸配列を含む、請求項 9 に記載の結合タンパク質。

【請求項 12】

第二の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 0 のアミノ酸配列を含む、請求項 9 に記載の結合タンパク質。

【請求項 13】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 6 8 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 0 のアミノ酸配列を含む、請求項 9 に記載の結合タンパク質。

【請求項 14】

重鎖は、配列番号 6 6 7 のアミノ酸配列を含む、請求項 9 に記載の結合タンパク質。

【請求項 15】

F c 領域を含む、請求項 9 に記載の結合タンパク質。

【請求項 16】

バリエーション F c 領域を含む、請求項 9 に記載の結合タンパク質。

【請求項 17】

ヒト IL - 17 及び TNF α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー、第二の重鎖可変ドメイン、及び重鎖定常ドメインを含む重鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは TNF α に結合し、かつ、配列番号 6 6 8 の残基 3 1 - 3 5 に示されるアミノ酸配列 D Y A M H を含む C D R H 1、配列番号 6 6 8 の残基 5 0 - 6 6 に示されるアミノ酸配列 A I T W N S G H I D Y A D S V E G を含む C D R H 2、及び配列番号 6 6 8 の残基 9 9 - 1 1 0 に示されるアミノ酸配列 V S Y L S T A S S L D Y を含む C D R H 3 を含み、

リンカーは、配列番号 6 6 9 のアミノ酸配列を含み、

第二の重鎖可変ドメインは IL - 17 に結合し、かつ、配列番号 6 7 0 の残基 3 1 - 3 5 に示されるアミノ酸配列 G Y G I G を含む C D R H 1、配列番号 6 7 0 の残基 5 0 - 6 6 に示されるアミノ酸配列 G I T P F F G F A D Y A Q K F Q G を含む C D R H 2、及び

配列番号 670 の残基 99 - 115 に示されるアミノ酸配列 D P N E F W N G Y Y S T H D F D S を含む C D R H 3 を含み、

重鎖定常ドメインは、配列番号 671 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 18】

2 つの重鎖を含む、請求項 17 に記載の結合タンパク質。

【請求項 19】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号 668 のアミノ酸配列を含む、請求項 17 に記載の結合タンパク質。

【請求項 20】

第二の重鎖可変ドメインは、配列番号 670 のアミノ酸配列を含む、請求項 17 に記載の結合タンパク質。

【請求項 21】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号 668 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、配列番号 670 のアミノ酸配列を含む、請求項 17 に記載の結合タンパク質。

【請求項 22】

重鎖は、配列番号 667 のアミノ酸配列を含む、請求項 17 に記載の結合タンパク質。

【請求項 23】

免疫グロブリン分子である、請求項 17 に記載の結合タンパク質。

【請求項 24】

ヒト I L - 17 及び T N F α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー、第二の重鎖可変ドメインを含む重鎖を含む、結合タンパク質であって、第一の重鎖可変ドメインは、T N F α に結合し、かつ、配列番号 668 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 669 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、I L - 17 に結合し、かつ、配列番号 670 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 25】

重鎖は、配列番号 667 のアミノ酸配列を含む、請求項 24 に記載の結合タンパク質。

【請求項 26】

2 つの重鎖を含む、請求項 24 に記載の結合タンパク質。

【請求項 27】

F c 領域を含む、請求項 24 に記載の結合タンパク質。

【請求項 28】

バリエーション F c 領域を含む、請求項 24 に記載の結合タンパク質。

【請求項 29】

ヒト I L - 17 及び T N F α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー、第二の重鎖可変ドメイン、及び重鎖定常ドメインを含む重鎖を含む、結合タンパク質であって、第一の重鎖可変ドメインは、T N F α に結合し、かつ、配列番号 668 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 669 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、I L - 17 に結合し、かつ、配列番号 670 のアミノ酸配列を含み、重鎖定常ドメインは、配列番号 671 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 30】

2 つの重鎖を含む、請求項 29 に記載の結合タンパク質。

【請求項 31】

重鎖は、配列番号 667 のアミノ酸配列を含む、請求項 29 に記載の結合タンパク質。

【請求項 32】

ヒト I L - 17 及び T N F α に結合することができ、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー、及び第二の軽鎖可変ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の軽鎖可変ドメインは、T N F α に結合し、かつ、配列番号 673 のアミノ酸配列を含む、又は配列番号 673 の残基 24 - 34 に示されるアミノ酸配列 R A S Q G I R N Y L A を含む C D R L 1、配列番号 673 の残基 50 - 56 に示されるアミノ酸配列 A A

S T L Q Sを含むC D R L 2、及び配列番号673の残基89 - 97に示されるアミノ酸配列Q R Y N R A P Y Tを含むC D R L 3を含み、

リンカーは、配列番号887及び888からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、

第二の軽鎖可変ドメインは、I L - 17に結合し、かつ、配列番号675のアミノ酸配列を含む、又は配列番号675の残基24 - 34に示されるアミノ酸配列R A S Q D I G S E L Hを含むC D R L 1、配列番号675の残基50 - 56に示されるアミノ酸配列Y A S H S T Sを含むC D R L 2、及び配列番号67の残基89 - 97に示されるアミノ酸配列H Q T D S L P Y Tを含むC D R L 3を含む、結合タンパク質。

【請求項33】

2つの軽鎖を含む、請求項32に記載の結合タンパク質。

【請求項34】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号673のアミノ酸配列を含む、請求項32に記載の結合タンパク質。

【請求項35】

第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号675のアミノ酸配列を含む、請求項32に記載の結合タンパク質。

【請求項36】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号673のアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号675のアミノ酸配列を含む、請求項32に記載の結合タンパク質。

【請求項37】

リンカーは、配列番号887のアミノ酸配列を含む、請求項32に記載の結合タンパク質。

【請求項38】

リンカーは、配列番号888のアミノ酸配列を含む、請求項32に記載の結合タンパク質。

【請求項39】

軽鎖定常ドメインを含む、請求項32に記載の結合タンパク質。

【請求項40】

ヒトI L - 17及びT N F α に結合することができ、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー、及び第二の軽鎖可変ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の軽鎖可変ドメインは、T N F α に結合し、かつ、配列番号673の残基24 - 34に示されるアミノ酸配列R A S Q G I R N Y L Aを含むC D R L 1、配列番号673の残基50 - 56に示されるアミノ酸配列A A S T L Q Sを含むC D R L 2、及び配列番号673の残基89 - 97に示されるアミノ酸配列Q R Y N R A P Y Tを含むC D R L 3を含み、

リンカーは、配列番号887及び888からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、

第二の軽鎖可変ドメインは、I L - 17に結合し、かつ、配列番号675の残基24 - 34に示されるアミノ酸配列R A S Q D I G S E L Hを含むC D R L 1、配列番号675の残基50 - 56に示されるアミノ酸配列Y A S H S T Sを含むC D R L 2、及び配列番号675の残基89 - 97に示されるアミノ酸配列H Q T D S L P Y Tを含むC D R L 3を含む、結合タンパク質。

【請求項41】

2つの軽鎖を含む、請求項40に記載の結合タンパク質。

【請求項42】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号673のアミノ酸配列を含む、請求項40に記載の結合タンパク質。

【請求項 4 3】

第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 5 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 0 に記載の結合タンパク質。

【請求項 4 4】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 3 のアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは配列番号 6 7 5 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 0 に記載の結合タンパク質。

【請求項 4 5】

リンカーは、配列番号 8 8 7 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 0 に記載の結合タンパク質。

【請求項 4 6】

リンカーは、配列番号 8 8 8 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 0 に記載の結合タンパク質。

【請求項 4 7】

軽鎖定常ドメインを含む、請求項 4 0 に記載の結合タンパク質。

【請求項 4 8】

ヒト IL - 1 7 及び TNF α に結合することができ、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー、第二の軽鎖可変ドメイン、及び軽鎖定常ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の軽鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 6 7 3 の残基 2 4 - 3 4 に示されるアミノ酸配列 R A S Q G I R N Y L A を含む C D R L 1、配列番号 6 7 3 の残基 5 0 - 5 6 に示されるアミノ酸配列 A A S T L Q S を含む C D R L 2、及び配列番号 6 7 3 の残基 8 9 - 9 7 に示されるアミノ酸配列 Q R Y N R A P Y T を含む C D R L 3 を含み、

リンカーは、配列番号 8 8 7 及び 8 8 8 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、

第二の軽鎖可変ドメインは、IL - 1 7 に結合し、かつ、配列番号 6 7 5 の残基 2 4 - 3 4 に示されるアミノ酸配列 R A S Q D I G S E L H を含む C D R L 1、配列番号 6 7 5 の残基 5 0 - 5 6 に示されるアミノ酸配列 Y A S H S T S を含む C D R L 2、及び配列番号 6 7 5 の残基 8 9 - 9 7 に示されるアミノ酸配列 H Q T D S L P Y T を含む C D R L 3 を含み、

軽鎖定常ドメインは、配列番号 6 7 6 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 4 9】

2 つの軽鎖を含む、請求項 4 8 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5 0】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 3 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 8 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5 1】

第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 5 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 8 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5 2】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 3 のアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 5 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 8 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5 3】

リンカーは、配列番号 8 8 7 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 8 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5 4】

リンカーは、配列番号 8 8 8 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 8 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5 5】

免疫グロブリン分子である、請求項 48 に記載の結合タンパク質。

【請求項 56】

ヒト TNF α 及び IL - 17 に結合することができ、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー、及び第二の軽鎖可変ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、第一の軽鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 673 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 887 及び 888 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは IL - 17 に結合し、かつ、配列番号 675 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 57】

リンカーは、配列番号 887 のアミノ酸配列を含む、請求項 56 に記載の結合タンパク質。

【請求項 58】

リンカーは、配列番号 888 のアミノ酸配列を含む、請求項 56 に記載の結合タンパク質。

【請求項 59】

軽鎖定常ドメインを含む、請求項 56 に記載の結合タンパク質。

【請求項 60】

ヒト TNF α 及び IL - 17 に結合することができ、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー、第二の軽鎖可変ドメイン、及び軽鎖定常ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、第一の軽鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 673 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 887 及び 888 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、IL - 17 に結合し、かつ、配列番号 675 のアミノ酸配列を含み、軽鎖定常ドメインは、配列番号 676 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 61】

リンカーは、配列番号 887 のアミノ酸配列を含む、請求項 60 に記載の結合タンパク質。

【請求項 62】

リンカーは、配列番号 888 のアミノ酸配列を含む、請求項 60 に記載の結合タンパク質。

【請求項 63】

免疫グロブリン分子である、請求項 60 に記載の結合タンパク質。

【請求項 64】

ヒト IL - 17 及び TNF α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の重鎖可変ドメインを含む重鎖、並びに、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の軽鎖可変ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 668 のアミノ酸配列を含む、又は、配列番号 668 の残基 31 - 35 に示されるアミノ酸配列 D Y A M H を含む C D R H 1、配列番号 668 の残基 50 - 66 に示されるアミノ酸配列 A I T W N S G H I D Y A D S V E G を含む C D R H 2、及び配列番号 668 の残基 99 - 110 に示されるアミノ酸配列 V S Y L S T A S S L D Y を含む C D R H 3 を含み、

リンカーは、配列番号 669 のアミノ酸配列を含み、

第二の重鎖可変ドメインは、IL - 17 に結合し、かつ、配列番号 670 のアミノ酸配列を含む、又は、配列番号 670 の残基 31 - 35 に示されるアミノ酸配列 G Y G I G を含む C D R 1、配列番号 670 の残基 50 - 66 に示されるアミノ酸配列 G I T P F F G F A D Y A Q K F Q G を含む C D R 2、及び配列番号 670 の残基 99 - 115 に示されるアミノ酸配列 D P N E F W N G Y Y S T H D F D S を含む C D R 3 を含み、

第一の軽鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、配列番号 673 のアミノ酸配列を含む、又は、配列番号 673 の残基 24 - 34 に示されるアミノ酸配列 R A S Q G I R N Y L A を含む C D R L 1、配列番号 673 の残基 50 - 56 に示されるアミノ酸配列 A A S T

L Q Sを含むC D R L 2、及び配列番号6 7 3の残基8 9 - 9 7に示されるアミノ酸配列Q R Y N R A P Y Tを含むC D R L 3を含み、

リンカーは、配列番号8 8 7及び8 8 8からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、

第二の軽鎖可変ドメインは、I L - 1 7に結合し、配列番号6 7 5のアミノ酸配列を含む、又は配列番号6 7 5の残基2 4 - 3 4に示されるアミノ酸配列R A S Q D I G S E L Hを含むC D R L 1、配列番号6 7 5の残基5 0 - 5 6に示されるアミノ酸配列Y A S H S T Sを含むC D R L 2、及び、配列番号6 7 5の残基8 9 - 9 7に示されるアミノ酸配列H Q T D S L P Y Tを含むC D R L 3を含む、結合タンパク質。

【請求項6 5】

2つの重鎖及び2つの軽鎖を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項6 6】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号6 6 8のアミノ酸配列を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項6 7】

第二の重鎖可変ドメインは、配列番号6 7 0のアミノ酸配列を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項6 8】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号6 6 8のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、配列番号6 7 0のアミノ酸配列を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項6 9】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号6 7 3のアミノ酸配列を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項7 0】

第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号6 7 5のアミノ酸配列を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項7 1】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号6 7 3のアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号6 7 5のアミノ酸配列を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項7 2】

重鎖は、配列番号6 6 7のアミノ酸配列を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項7 3】

F c領域を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項7 4】

バリエーションF c領域を含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項7 5】

軽鎖定常ドメインを含む、請求項6 4に記載の結合タンパク質。

【請求項7 6】

ヒトI L - 1 7及びT N F α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の重鎖可変ドメインを含む重鎖、並びに、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の軽鎖可変ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは、T N F α に結合し、かつ、配列番号6 6 8の残基3 1 - 3 5に示されるアミノ酸配列D Y A M Hを含むC D R H 1、配列番号6 6 8の残基5 0 - 6 6に示されるアミノ酸配列A I T W N S G H I D Y A D S V E Gを含むC D R H 2、及び配列番号6 6 8の残基9 9 - 1 1 0に示されるアミノ酸配列V S Y L S T A S S L D Yを含むC D R H 3を含み、

リンカーは、配列番号6 6 9のアミノ酸配列を含み、

第二の重鎖可変ドメインは、I L - 1 7に結合し、配列番号6 7 0の残基3 1 - 3 5に示されるアミノ酸配列G Y G I Gを含むC D R 1、配列番号6 7 0の残基5 0 - 6 6に示

されるアミノ酸配列 G I T P F F G F A D Y A Q K F Q G を含む C D R 2、及び配列番号 6 7 0 の残基 9 9 - 1 1 5 に示されるアミノ酸配列 D P N E F W N G Y Y S T H D F D S を含む C D R 3 を含み、

第一の軽鎖可変ドメインは、T N F α に結合し、かつ、配列番号 6 7 3 の残基 2 4 - 3 4 に示されるアミノ酸配列 R A S Q G I R N Y L A を含む C D R L 1、配列番号 6 7 3 の残基 5 0 - 5 6 に示されるアミノ酸配列 A A S T L Q S を含む C D R L 2、及び配列番号 6 7 3 の残基 8 9 - 9 7 に示されるアミノ酸配列 Q R Y N R A P Y T を含む C D R L 3 を含み、

リンカーは、配列番号 8 8 7 及び 8 8 8 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、

第二の軽鎖可変ドメインは、I L - 1 7 に結合し、かつ、配列番号 6 7 5 の残基 2 4 - 3 4 に示されるアミノ酸配列 R A S Q D I G S E L H を含む C D R L 1、配列番号 6 7 5 の残基 5 0 - 5 6 に示されるアミノ酸配列 Y A S H S T S を含む C D R L 2、及び配列番号 6 7 5 の残基 8 9 - 9 7 に示されるアミノ酸配列 H Q T D S L P Y T を含む C D R L 3 を含む、

結合タンパク質。

【請求項 7 7】

2 つの重鎖及び 2 つの軽鎖を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 7 8】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 6 8 のアミノ酸配列を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 7 9】

第二の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 0 のアミノ酸配列を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 0】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 6 8 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 0 のアミノ酸配列を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 1】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 3 のアミノ酸配列を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 2】

第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 5 のアミノ酸配列を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 3】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 3 のアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号 6 7 5 のアミノ酸配列を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 4】

重鎖は、配列番号 6 6 7 のアミノ酸配列を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 5】

F c 領域を含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 6】

バリエーション F c 領域をさらに含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 7】

軽鎖定常ドメインを含む、請求項 7 6 に記載の結合タンパク質。

【請求項 8 8】

ヒト I L - 1 7 及び T N F α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー、第二の重鎖可変ドメイン及び重鎖定常ドメインを含む重鎖、並びに、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー、第二の軽鎖可変ドメイン及び軽鎖定常ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは、T N F α に結合し、かつ、配列番号の 6 6 8 の残基 3 1 -

35に示されるアミノ酸配列DYAMHを含むCDRH1、配列番号668の残基50-66に示されるアミノ酸配列AITWNSGHIDYADSVEGを含むCDRH2、及び配列番号668の残基99-110に示されるアミノ酸配列VSYLSTASSLDYを含むCDRH3を含み、

リンカーは、配列番号669のアミノ酸配列を含み、

第二の重鎖可変ドメインは、IL-17に結合し、配列番号670の残基31-35に示されるアミノ酸配列GYGIGを含むCDR1、配列番号670の残基50-66に示されるアミノ酸配列GITPFFGFADYAQKFQGを含むCDR2、及び配列番号670の残基99-115に示されるアミノ酸配列DPNEFWNGYYSTHDFDSを含むCDR3を含み

重鎖定常ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号671のアミノ酸配列を含み、

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号673の残基24-34に示されるアミノ酸配列RASQGI RNYLAを含むCDRL1、配列番号673の残基50-56に示されるアミノ酸配列AAS TLQSを含むCDRL2、及び配列番号673の残基89-97に示されるアミノ酸配列QRYNRAPYTCDRL3を含むCDRL3を含み、

リンカーは、配列番号887及び888からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、

第二の軽鎖可変ドメインは、IL-17に結合し、かつ、配列番号675の残基24-34に示されるアミノ酸配列RASQDIGSELHを含むCDRL1、配列番号675残基50-56に示されるアミノ酸配列YASHSTSを含むCDRL2、及び配列番号675の残基89-97に示されるアミノ酸配列HQTDSLPLYTを含むCDRL3を含み、

軽鎖定常ドメインは、配列番号676のアミノ酸配列を含む、
結合タンパク質。

【請求項89】

2つの重鎖及び2つの軽鎖を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項90】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号668のアミノ酸配列を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項91】

第二の重鎖可変ドメインは、配列番号670のアミノ酸配列を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項92】

第一の重鎖可変ドメインは、配列番号668のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、配列番号670のアミノ酸配列を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項93】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号673のアミノ酸配列を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項94】

第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号675のアミノ酸配列を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項95】

第一の軽鎖可変ドメインは、配列番号673のアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、配列番号675のアミノ酸配列を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項96】

重鎖は、配列番号667のアミノ酸配列を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項97】

Fc領域を含む、請求項88に記載の結合タンパク質。

【請求項98】

バリエーション領域をさらに含む、請求項 88 に記載の結合タンパク質。

【請求項 99】

軽鎖定常ドメインを含む、請求項 88 に記載の結合タンパク質。

【請求項 100】

ヒト IL-17 及び TNF α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の重鎖可変ドメインを含む重鎖、並びに、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー及び第二の軽鎖可変ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 668 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 669 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、IL-17 に結合し、かつ、配列番号 670 のアミノ酸配列を含み、

第一の軽鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 673 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 887 及び 888 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、IL-17 に結合し、かつ、配列番号 675 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 101】

ヒト IL-17 及び TNF α に結合することができ、第一の重鎖可変ドメイン、リンカー、第二の重鎖可変ドメイン及び重鎖定常ドメインを含む重鎖、並びに、第一の軽鎖可変ドメイン、リンカー、第二の軽鎖可変ドメイン及び軽鎖定常ドメインを含む軽鎖を含む、結合タンパク質であって、

第一の重鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 668 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 669 のアミノ酸配列を含み、第二の重鎖可変ドメインは、IL-17 に結合し、かつ、配列番号 670 のアミノ酸配列を含み、重鎖定常ドメインは、配列番号 671 のアミノ酸配列を含み、

第一の軽鎖可変ドメインは、TNF α に結合し、かつ、配列番号 673 のアミノ酸配列を含み、リンカーは、配列番号 887 及び 888 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含み、第二の軽鎖可変ドメインは、IL-17 に結合し、かつ、配列番号 675 のアミノ酸配列を含み、軽鎖定常ドメインは、配列番号 6 のアミノ酸配列を含む、結合タンパク質。

【請求項 102】

請求項 1 ~ 101 のいずれか 1 項に記載の結合タンパク質を含む、疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項 103】

疾患が、自己免疫疾患及び / 又は炎症疾患である、請求項 102 に記載の医薬組成物。

【請求項 104】

疾患が、関節リウマチ、骨関節炎、若年性慢性関節炎、化膿性関節炎、ライム関節炎、乾癬性関節炎、反応性関節炎、脊椎関節症、全身性紅斑性狼瘡、クローン病、潰瘍性大腸炎、炎症性腸疾患、インシュリン依存性糖尿病、甲状腺炎、喘息、アレルギー性疾患、乾癬、皮膚炎、強皮症、移植片対宿主病、臓器移植拒絶、臓器移植に関連する急性または慢性免疫疾患、サルコイドーシス、アテローム性動脈硬化症、播種性血管内凝固、川崎病、バセドウ病、ネフローゼ症候群、慢性疲労症候群、ウェゲナー肉芽腫症、ヘノッホ・シェーライン紫斑症、腎臓の顕微鏡的血管炎、慢性活動性肝炎、ブドウ膜炎、敗血症性ショック、毒素性ショック症候群、敗血症症候群、悪液質、感染性疾患、寄生性疾患、後天性免疫不全症候群、急性横断性脊髄炎、ハンチントン舞蹈病、パーキンソン病、アルツハイマー病、発作、原発性胆汁性肝硬変、溶血性貧血、悪性腫瘍、心不全、心筋梗塞、アジソン病、孤発性の、多内分泌腺機能低下症候群 I 型および多内分泌腺機能低下症候群 II 型、シュミット症候群、成人（急性）呼吸促迫症候群、脱毛症、円形脱毛症、血清反応陰性関節炎、関節炎、ライター病、乾癬性関節炎、潰瘍性大腸性関節炎、腸疾患性滑膜炎、クラミジア、エルシニアおよびサルモネラ関連関節炎、脊椎関節症、アテローム性疾患 / アテローム性動脈硬化症、アトピー性アレルギー、自己免疫性水疱性疾患、尋常性天疱瘡、落

葉状天疱瘡、類天疱瘡、線状IgA病、自己免疫性溶血性貧血、クームス陽性溶血性貧血、後天性悪性貧血、若年性悪性貧血、筋痛性脳脊髄炎/ロイアルフリー病、慢性粘膜皮膚カンジダ症、巨細胞性動脈炎、原発性硬化性肝炎、突発性自己免疫性肝炎、後天性免疫不全症候群、後天性免疫不全関連疾患、B型肝炎、C型肝炎、分類不能型免疫不全症（分類不能型原発性低γグロブリン血症）、拡張型心筋症、女性不妊症、卵巣機能不全、早期卵巣機能不全、繊維性肺疾患、突発性間質性肺炎、炎症後間質性肺疾患、間質性肺炎、結合組織疾患関連間質性肺疾患、混合性結合組織疾患関連肺疾患、全身性硬化症関連間質性肺疾患、関節リウマチ関連間質性肺疾患、全身性紅斑性狼瘡関連肺疾患、皮膚筋炎/多発性筋炎関連肺疾患、シェーグレン病関連肺疾患、強直性脊椎炎関連肺疾患、血管炎性びまん性肺疾患（*vasculitic diffuse lung disease*）、ヘモシデローシス関連肺疾患、薬物によって誘導された間質性肺疾患、繊維症、放射性繊維症、閉塞性細気管支炎、慢性好酸球性肺炎、リンパ球浸潤性肺疾患、感染後間質性肺疾患、通風関節炎、自己免疫性肝炎、1型自己免疫性肝炎（古典的自己免疫性またはルポイド肝炎）、2型自己免疫性肝炎（抗LKM抗体肝炎）、自己免疫媒介性低血糖症、黒色表皮腫を伴うB型インシュリン抵抗性、副甲状腺機能低下症、臓器移植に関連する急性免疫疾患、臓器移植に関連する慢性免疫疾患、変形性関節症、原発性硬化性胆管炎、1型乾癬、2型乾癬、特発性白血球減少症、自己免疫性好中球減少症、腎臓病NOS、糸球体腎炎、腎臓の顕微鏡的血管炎、ライム病、円板状紅斑性狼瘡、男性不妊症特発性またはNOS、精子自己免疫、多発性硬化症（すべてのサブタイプ）、交感性眼炎、結合組織疾患に続発する肺高血圧症、グッドパスチャー症候群、結節性多発動脈炎の肺症状、急性リウマチ熱、リウマチ性脊椎炎、スチル病、全身性硬化症、シェーグレン症候群、高安病/動脈炎、自己免疫性血小板減少症、特発性血小板減少症、自己免疫性甲状腺疾患、甲状腺機能亢進症、甲状腺腫自己免疫性甲状腺機能低下症（橋本病）、萎縮性自己免疫性甲状腺機能低下症、原発性粘液水腫（*primary myxoedema*）、水晶体起因性ブドウ膜炎、原発性血管炎、白斑急性肝疾患、慢性肝疾患、アルコール性肝硬変、アルコール誘発性肝障害、胆汁うっ滞（*choleostasis*）、特異体質性肝疾患、薬物誘発性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎、アレルギーおよび喘息、B群連鎖球菌（GBS）感染、精神障害（例えば、うつ病および統合失調症）、Th2型およびTh1型によって媒介される疾病、急性および慢性疼痛（疼痛の様々な形態）、ならびに、肺癌、乳癌、胃癌、膀胱癌、大腸癌、膵臓癌、卵巣癌、前立腺癌および腎臓癌および造血性悪性病変（白血病およびリンパ腫）などの癌、無βリボタンパク質血症、先端チアノーゼ、急性および慢性寄生性または感染性プロセス、急性白血病、急性リンパ芽球性白血病（ALL）、急性骨髄性白血病（AML）、急性または慢性細菌感染、急性膵炎、急性腎不全、腺癌、心房（*atrial*）異所性拍動、AIDS認知症複合、アルコール誘発性肝炎、アレルギー性結膜炎、アレルギー性接触性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、同種移植拒絶、α-1-アンチトリプシン欠乏症、筋萎縮性側索硬化症、貧血、狭心症、前角細胞変性、抗CD3治療、抗リン脂質症候群、抗受容体過敏症反応（*anti-receptor hypersensitivity reactions*）、大動脈（*aortic*）および動脈瘤、大動脈解離、動脈性高血圧、動脈硬化症、動静脈瘻、運動失調、心房細動（持続的または発作的）、心房粗動、房室ブロック、B細胞リンパ腫、骨移植拒絶、骨髄移植（BMT）拒絶、脚ブロック、パーキットリンパ腫、火傷、心不整脈、心機能不全症候群（*cardiac stun syndrome*）、心臓腫瘍、心筋症、心肺バイパス炎症反応、軟骨移植拒絶、小脳皮質変性、小脳疾患、無秩序なまたは多巣性心房頻脈、化学療法関連疾患、慢性骨髄性白血病（CML）、慢性アルコール症、慢性炎症性病変、慢性リンパ性白血病（CLL）、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性サリチル酸中毒、結腸直腸癌、うっ血性心不全、結膜炎、接触性皮膚炎、肺性心、冠動脈疾患、クロイツフェルト-ヤコブ病、培養陰性敗血症、嚢胞性繊維症、サイトカイン療法関連疾患、ボクサー脳、脱髄性疾患、デング出血熱、皮膚炎、皮膚科学的症状、糖尿病、真性糖尿病、糖尿病性動脈硬化疾患、瀰漫性レビー小体病、拡張型うっ血性心筋症、大脳基底核の疾患、中年のダウン症候群、中枢神経ドーパミン受容体を遮断する薬物によって誘発された薬物誘発性運動疾患、薬物感

受性、湿疹、脳脊髄炎、心内膜炎、内分泌疾患、喉頭蓋炎、エプスタイン - バーウイルス感染、紅痛症、垂体外路および小脳疾患、家族性血球貪食性リンパ組織球症 (familial hematophagocytic lymphohistiocytosis)、致死性胸腺移植組織拒絶、フリードライヒ失調症、機能的末梢動脈疾患、真菌性敗血症、ガス壊疽、胃潰瘍、糸球体腎炎、いずれかの臓器または組織の移植片拒絶、グラム陰性敗血症、グラム陽性敗血症、細胞内生物に起因する肉芽腫、有毛細胞白血病、ハラールデン・スパッツ病、橋本甲状腺炎、枯草熱、心臓移植拒絶、血色素症、血液透析、溶血性尿毒症症候群 / 血栓溶解血小板減少紫斑病、出血、肝炎 (A 型)、ヒス束不整脈、HIV 感染 / HIV 神経障害、ホジキン病、運動過剰疾患、過敏症反応、過敏性肺炎、高血圧、運動低下疾患、視床下部 - 下垂体 - 副腎皮質系評価、特発性アジソン病、特発性肺繊維症、抗体媒介性細胞毒性、無力症、乳児脊髄性筋萎縮症、大動脈の炎症、A 型インフルエンザ、電離放射線曝露、虹彩毛様体炎 / ブドウ膜炎 / 視神経炎、虚血再灌流障害、虚血性発作、若年性関節リウマチ、若年性脊髄性筋萎縮症、カボジ肉腫、腎移植拒絶、レジオネラ、リーシュマニア症、ハンセン病、皮質脊髄系の病変、脂肪血症 (lipedema)、肝臓移植拒絶、リンパ浮腫 (lymphedema)、マラリア、悪性リンパ腫、悪性組織球増殖症、悪性黒色腫、髄膜炎、髄膜炎菌血症 (meningococcemia)、代謝性 / 特発性、偏頭痛、ミトコンドリア多系疾患 (mitochondrial multi-system disorder)、混合性結合組織病、モノクローナル高ガンマグロブリン血症、多発性骨髄腫、多系統変性 (メンセル・デジェリーヌ・トーマス・シャイ - ドレーガーおよびマシャド - ジョセフ)、重症筋無力症、マイコバクテリウム・アビウム・イントラセラーレ、マイコバクテリウム・チューバキュロシス、骨髄形成異常、心筋梗塞、真菌虚血疾患、上咽頭癌、新生児慢性肺疾患、腎炎、ネフローゼ、神経変性疾患、神経原性 I 筋萎縮、好中球減少性発熱、非ホジキンリンパ腫、腹部大動脈およびその分枝の閉塞、閉塞性動脈疾患、OKT3 (登録商標) 療法、精巣炎 / 精巣上体炎、精巣炎 / 精管復元術処置、臓器肥大、骨粗鬆症、脾臓移植拒絶、脾癌、腫瘍随伴性症候群 / 悪性腫瘍の高カルシウム血症、副甲状腺移植拒絶、骨盤内炎症性疾患、通年性鼻炎、心膜疾患、末梢アテローム硬化性疾患、末梢血管疾患、腹膜炎、悪性貧血、ニューモシスチス・カリニ肺炎、肺炎、POEMS 症候群 (多発神経炎、臓器肥大、内分泌疾患、単クローン性 γ グロブリン血症および皮膚変化症候群 (skin changes syndrome))、灌流後症候群 (post perfusion syndrome)、ポンプ後症候群 (post pump syndrome)、心筋梗塞後開心術症候群、子癇前症、進行性核上性麻痺、原発性肺高血圧、放射線療法、レイノー現象および病、レイノー病、レフサム病、規則的な QRS 幅の狭い頻脈症 (regular narrow QRS tachycardia)、腎血管性高血圧、再灌流障害、拘束型心筋症、肉腫、強皮症、老年性舞蹈病、レビー小体型の老年性認知症、血清反応陰性関節炎、ショック、鎌形赤血球貧血症、皮膚同種異系移植拒絶、皮膚変化症候群、小腸移植拒絶、固形腫瘍、固有不整脈 (specific arrhythmias)、脊髄性運動失調、脊髄小脳変性、連鎖球菌性筋炎、小脳の構造的病変、亜急性硬化性全脳炎、湿疹、心血管系の梅毒、全身性アナフィラキシー、全身性炎症反応症候群、全身性発症若年性関節リウマチ、T 細胞または F A B A L L、毛細血管拡張症、閉塞性血栓血管炎、血小板減少症、毒性、移植、外傷 / 出血、III 型過敏症反応、IV 型過敏症、不安定狭心症、尿毒症、尿路性敗血症、じんましん、心臓弁膜症、静脈瘤、血管炎、静脈疾患、静脈血栓症、心室細動、ウイルスおよび真菌感染、ウイルス性脳炎 (vital encephalitis) / 無菌性髄膜炎、ウイルス関連血球貪食症候群、ウェルニッケ - コルサコフ症候群、ウィルソン病、いずれかの臓器または組織の異種移植拒絶、急性冠症候群、急性特発性多発性神経炎、急性炎症性脱髄性多発神経根神経障害、急性虚血、成人スチル病、円形脱毛症、アナフィラキシー、抗リン脂質抗体症候群、再生不良性貧血、アテローム性動脈硬化症、アトピー性湿疹、アトピー性皮膚炎、自己免疫性皮膚炎、連鎖球菌感染に伴う自己免疫異常、自己免疫性腸症、自己免疫性難聴、自己免疫性リンパ増殖症候群 (ALPS)、自己免疫性心筋炎、自己免疫性早期卵巢不全、眼瞼炎、気管支拡張症、水疱性類天疱瘡、心血管疾患、

劇症型抗リン脂質症候群、セリアック病、頸部脊椎症、慢性虚血、瘢痕性類天疱瘡、多発性硬化症のリスクを有する臨床的孤発症候群（*c i s*）、結膜炎、小児発症精神障害、慢性閉塞性肺疾患（*C O P D*）、涙囊炎、皮膚筋炎、糖尿病性網膜症、真性糖尿病、椎間板ヘルニア、椎間板脱出、薬物誘発免疫性溶血性貧血、心内膜炎、子宮内膜症、眼内炎、上強膜炎、多形性紅斑、重症型多形性紅斑、妊娠性類天疱瘡、ギラン・バレー症候群（*G B S*）、枯草熱、ヒューズ症候群、特発性パーキンソン病、特発性間質性肺炎、*I g E* 媒介性アレルギー、免疫性溶血性貧血、封入体筋炎、感染性眼炎症疾患、炎症性脱髄疾患、炎症性心疾患、炎症性腎疾患、*I P F / U I P*、虹彩炎、角膜炎、乾性角結膜炎（*k e r a t o j u n c t i v i t i s s i c c a*）、クスマウル病またはクスマウル・マイヤー病、ランドリー麻痺、ランゲルハンス細胞性組織球症、網状皮斑、黄斑変性、顕微鏡的多発性血管炎、モルブス・ベヒテレフ（*m o r b u s b e c h t e r e v*）、運動ニューロン疾患、粘膜性類天疱瘡、多臓器不全、重症筋無力症、骨髓異形成症候群、心筋炎、神経根障害、神経障害、非 A 非 B 型肝炎、視神経炎、骨溶解、卵巣癌、小関節性 *J R A*、末梢

動脈閉塞疾患（*P A O D*）、末梢血管疾患（*P V D*）、末梢動脈疾患（*P A D*）、静脈炎、結節性多発性動脈炎（または結節性動脈周囲炎）、多発性軟骨炎、リウマチ性多発性筋痛、白毛症、多関節性 *J R A*、多内分泌欠損症候群、多発性筋炎、リウマチ性多発性筋痛（*P M R*）、ポンプ後症候群、原発性パーキンソニズム、前立腺癌および直腸癌および造血性悪性病変（白血病およびリンパ腫）、前立腺炎、赤芽球癆、原発性副腎不全、再発性視神経脊髄炎、再狭窄、リウマチ性心疾患、*s a p h o*（滑膜炎、アクネ、膿疱症、骨過形成および骨髓炎）、強皮症、続発性アミロイドーシス、ショック肺、強膜炎、坐骨神経痛、二次性副腎不全、シリコーン関連結合組織病、スネドン・ウィルキンソン皮膚症、強直性脊椎炎、スティーブンス・ジョンソン症候群（*S J S*）、全身性炎症反応症候群、側頭動脈炎、トキシプラズマ性網膜炎、中毒性表皮剥離症、横断性脊髄炎、*T R A P S*（腫瘍壊死因子受容体）、1型アレルギー反応、*I I* 型糖尿病、じんましん、通常型間質性肺炎（*U I P*）、血管炎、春季結膜炎、ウイルス性網膜炎、フォークト・小柳・原田症候群（*V K H* 症候群）、滲出型黄斑変性、創傷治癒、エルシニア関連関節症およびサルモネラ関連関節症からなる群から選択される、請求項 102 又は 103 に記載の医薬組成物。